



基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

金武町健康福祉まつり参加のご報告

入院係 甲斐 伊織

12月7日(日曜日)金武町で開催された「健康福祉まつり」に当院も参加し、地域の皆さまの健康づくりをお手伝いしました。

今回のイベントでは町民の皆さまに健康について考えるきっかけを持っていただけるよう、さまざまな測定や相談を通じて日常生活で役立つ情報を提供することを目的として行われました。当日は幅広い世代の方が立ち寄り、会場は終始あたたかな雰囲気が広がっていました。

当院ブースでは身長・体重測定を行い、BMIや身長に応じた標準体重の算出を実施しました。普段あまり測る機会のない方も多く、測定結果と一緒に確認しながら食事や運動習慣を見直すヒントとなるアドバイスを丁寧にお伝えしました。数字を見ることでご自身の体の変化に気づく場面もあり、健康管理を始めるきっかけづくりになればという思いで対応致しました。

さらに、血圧測定や骨密度測定も行い、結果を基にした健康相談を実施しました。血圧や骨の状態は日々の生活に深く関係しているため生活習慣病の予防や骨粗しょう症対策として意識してほしいポイントをわかりやすく説明しました。

測定を通して「少し気を付けてみよう」と感じていただけていたら幸いです。

加えてアルコール相談やアルコールパッチテストも実施しました。飲酒習慣の見直しや体質に応じた注意点など、お酒との付き合い方について知っていただく機会となり、普段の生活では意識しづらい健康リスクについて触れる時間にもなりました。

今回のイベントを通して、地域の健康意識の高まりを感じるとともに来場者さまとの交流を深めることができました。また、当日の運営を職員一人ひとりが役割を意識し、協力しながら対応することで職員同士のつながりやチームワークもより強まったように思います。多くの方と直接ふれあうことで普段の業務では得られない学びや気づきも多く、大変有意義な時間となりました。

今後も当院は地域に寄り添いながら、皆様の心と体の健康づくりを支える活動を続けてまいります。



院長



ふくじ やすひで
福治 康秀

1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。
1993年琉球大学医学部卒、琉球大学医学部精神神経科入局。
95年那覇市立病院精神科、96年琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。
日本森田療法学会理事。
日本病院・地域精神医学会理事。
琉球大学医学部 臨床教授。

診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・クロザリル外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数 353床

- ・精神 151床
(一般精神・クロザピン専門・精神科救急)
- ・アルコール依存症 44床
- ・児童思春期ユニット 4床
- ・重症心身障がい 90床
- ・医療観察法 37床



路線バス 那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分

自動車 那覇市から40分沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

お問い合わせ

時間 8:30 ~ 17:15
(土・日・祝日・年末年始以外)
TEL 098-968-2133(代)
内線 231・234

地域医療連携室(直通)

TEL 098-968-3550
FAX 098-968-7370

治療抵抗性精神疾患への医療

精神科医長 木田 直也



クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症の患者さんに対して、当院では2010年からクロザピン(CLZ)治療を開始し、登録症例数は延べ449例になりました。2025年12月のCLZ登録症例は2例で、そのうち1例は他の精神科病院に入院中の患者さんでした。CLZ導入前には暴力行為や多飲水などの問題行動のために、隔離や身体拘束が必要な患者さんも多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動が消失、もしくは軽減し、ほとんどの症例で隔離や身体拘束は解除できています。週に3回のCLZ専門外来も行っていますので、患者さんのご紹介をお願いいたします。

当院でのCLZ治療や沖縄県での地域連携の実際については、ノバルティスファーマ社の医療関係者向けサイトのクロザリル/クロザリル適正使用の流れ(<https://www.drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/point/>)でも動画が公開されていますので、ご参照ください。

外来部門

外来師長 宮城 桃子

外来部門において、こども心療科(予約制)の診察治療を行っています。対象年齢は1~15歳となっております。当院受診に来られるお子さんについて以下の点があります。また、下の項目になくとも気になる点がありましたら、ぜひご相談ください。こども心療科においては、お子さんが健やかにその子らしく成長できるようご家族や学校の方々とも、発育や発達状況のとらえ方、状態に合わせた関り方を一緒に考えます。お子さんの事で何か気になる事があれば、家族内で悩むだけでなく、まずは外来・地域連携室へご相談ください。

	お子さんのこんな事が気になる	お子さんへのアプローチ
就学前・学齢期	言葉の発達、落ち着きがない、お友達と遊べない、こだわりが強い、これからの就園・就学について 等	発育状況や発達の遅れ・偏りの心配、情緒・行動の問題に関して相談・評価・診断・治療や療育を多職種で行います。
思春期	他人の視線が気になる。友達とうまくいかない、学校に行きたくない、気分が沈んでいる。やる気がでない、自分を傷つけてしまう 等	自分自身についての悩みや不安、仲間関係や異性関係、自立をめぐる親子葛藤など思春期の不安や適応の問題についてお子さんの希望をふまえながら相談、治療を行います。

デイケア紹介

訪問看護・デイケア師長 翁長 稔

琉球病院の精神科デイケアは、精神的な不調を抱える方が地域で安心して生活できるよう支援する通所型のリハビリテーションです。医師、看護師、心理士、作業療法士、看護助手などの多職種が連携し、個々の症状や目標に応じた支援を行います。プログラムには、生活リズムの安定を図る活動や対人関係スキルの向上、作業活動、心理教育などが含まれています。仲間との交流を通して自信を回復し、社会参加や再発予防につなげることを大切にしています。

各種保険が適応され、自立支援医療費もご利用になれます。一部地域への送迎がありますので、デイケアを利用したい方、或いは詳しくお話を聞かれたい方は当院の地域連携室へお気軽にお声かけ下さい。毎週火曜日と水曜日の9時30分から15時30分の時間で活動しています。

● 地域連携室だより

精神保健福祉士 平良 博之

琉球病院では、一般的な精神疾患をはじめ、アルコール依存症等のアディクション全般、治療抵抗性統合失調症治療薬であるクロザピンによる治療、うつ病への治療として反復経頭蓋磁気刺激療法(r-TMS)、認知症、児童思春期外来といった様々な疾患に対応できるよう診療体制を整えております。

地域医療連携室では患者様やご家族からの経済的な相談、就労に関する相談、社会資源に関する相談など様々な相談に対応しております。また地域、行政、他医療機関からの相談窓口も担っております。

初診については予約制となっております。外来または入院治療のご相談はお気軽にお電話ください。